

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関は作り自体がテンキー操作になっており、手動への切替は重くなり開閉が難しくなると同時に防犯上でも問題が生じる。	玄関の自動ドアの改修工事を行い、一定時間をタッチスイッチでの開閉を可能にした	自動ドアの改修工事は見積りを本社に提出済み。稟議が下りることに期待したい。	3ヶ月
2	14	同業者との交流を通じた向上について、支社での研修や交流は月1回のGH会議などへの参加を促し、交流が図れているが、同業他社との交流の機会を設けることはできていない。	同業他社への見学を含め、社を越えた研修会を実施するなど、同業他社との交流の機会を自ら設定していく。	同業他社への挨拶回りから始め、共同研修会の開催や事例検討会、介護支援の実施状況の持ち回り発表などの呼びかけを行う。	12ヶ月
3	28	新しいご入居者のご希望の中に長時間の自由な散歩を楽しみたいというご要望があり、ご家族もリスクを承知した上で同様に希望されている。人員配置の関係上、長時間の同行は難しいがご要望にはお応えしたい。	想定されるリスクに対する対応策や散歩コースの取り決め、帰宅されなかった場合の捜索体制など、ご家族と詳細に取り決めを行いながら、GPSを活用しての単独外出の実現に取り組みたい。	行政への確認はできているので、危険回避のための取り決めや、事故発生時のケース別の対処方法などをご家族と検討する。ご家族の意思確認後、詳細なケース別対処策を添えて本社への許可願いを申請し、実現に向ける。	2ヶ月
4	33	医療側の視点に立つ連携病院の方針と看取りや重度化に向けて介護の観点から望む医療内容の相違点について十分な調整が図れておらず、ご入居者やご家族に安心していただけるチームケアの体制まで作れていない。	コーディネーターと十分な討議を重ね、当事業所における看取りについての方針を理解していただいた上で協力体制を整えて貰う。また連携先の医療提供の限界や主治医の医療方針、死生観を理解した上で双方の調整を図りたい。	ご家族の意向を踏まえながら、月2回の定期受診を月1回とし、体調不良の際の速やかかつ柔軟な往診を依頼する。不可能であれば往診可能なクリニックとの協力体制を確立し、重度化や看取りに向けて安心していただける体制づくりを行う。	6ヶ月
5	35	夜間を想定した避難訓練を実施できていない。また、自治会主催の避難訓練などの参加を制限されているため、地域との協力体制が築きにくい状況にあるのが実状である。	前回同様に地域の方々の協力要請を積極的に発信し続ける。自治会に頼るのではなく、独自に日頃のお付き合いを大切にしていくなかで、当事業所主催の防災訓練の参加を呼び掛けていく。	まず、一度夜間の職員招集訓練を実施する。介護予防運動指導員資格を持つ職員により、地域の方々へ向けた定期的な「介護予防運動」教室の開催や「介護教室」などの開催を通して馴染みの関係を作り災害時の協力を依頼していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。